

令和2年12月25日
出入国在留管理庁

「在留カード等読取アプリケーション」の無料配布について

出入国在留管理庁では、令和2年12月25日から、在留カード及び特別永住者証明書のICチップの内容を読み取り、その情報が偽造・改ざんされたものでないことを確認するための機能を提供する在留カード等読取アプリケーションを順次無料配布します。

1 導入目的等

出入国在留管理庁では、在留カード等の社会的信用性を保護するために様々な偽変造在留カード対策を行っていますが、近年、券面の偽造技術の精巧化、有効な在留カード番号を使用した偽変造在留カード作成事案が発生するなど、これまで以上に偽変造在留カード対策が必要となっています。

新たに導入する在留カード等読取アプリケーションは、在留カード等のICチップ内に保存されている身分事項や顔写真等の情報を読み取るためのものです。読み取った情報と、券面に記載された情報を見比べることにより、容易に偽変造の有無を確認することができるようになります。

本アプリを出入国在留管理庁ホームページ等において無料配布することで、偽変造在留カード対策を強化し、より一層偽装滞在者対策を進めます。

2 対象OS及び利用環境

Windows 8.1, Windows 10

macOS 10.14以降

Android 6.0以降

iOS 13.2以降

3 配布場所

Windows版 ダウンロード専用サイト

macOS版 Mac App Store

Android版 Google Play

iOS版 App Store

こちらから、各サイト又はアプリケーションストアへ行くことができます。



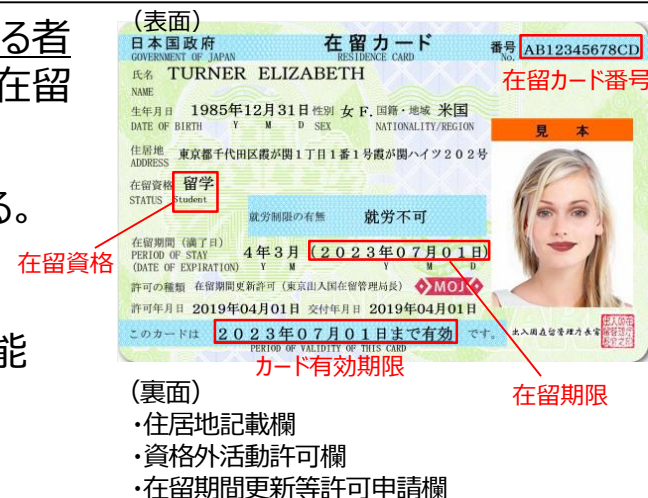
4 配布開始日

令和2年12月25日, Windows版から順次配布開始

在留カードに係る偽変造防止対策の強化について

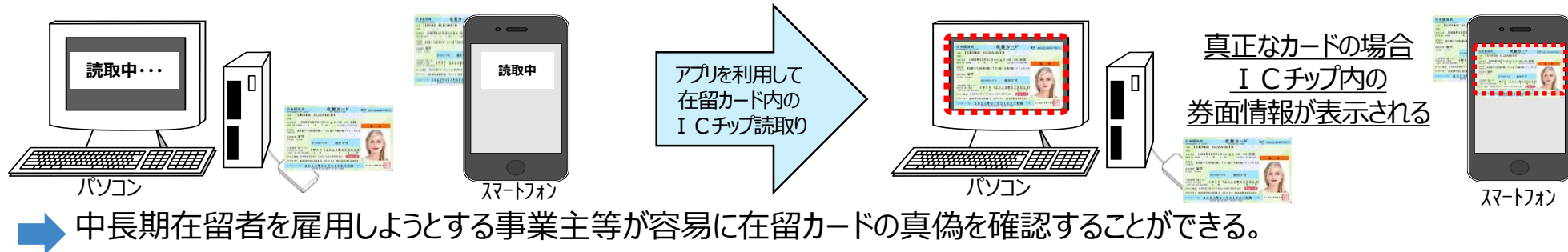
導入の背景

- ◆ 在留カードは、在留資格に係る申請の許可の結果として我が国に中長期間在留する者（中長期在留者）に対して交付され、我が国に中長期間滞在できる在留資格及び在留期間をもって適法に在留する者であることを証明する「証明書」としての性格を有する。
- ◆ 社会的信用性を保護する必要性が高いため、以下の偽変造防止対策を行っている。
 - ・ 在留カード券面にホログラム、UVインク、パールインク等を活用
 - ・ 在留カード内にICチップを搭載し、カードの券面情報等を格納
 - ・ 在留カード等番号失効情報照会で在留カードが失効しているかどうかの確認が可能
- ◆ 券面の偽造技術の精巧化や失効情報照会の仕組みを悪用した偽変造カード作成事案が発生するなど、これまで以上の偽変造防止対策が必要となっている。



対応策

- ◆ 在留カード等のICチップを読み取るアプリの開発 (対象: WindowsOS, macOS, AndroidOS, iOS)



運用開始時期

令和2年12月25日, WindowsOS版, macOS版, AndroidOS版及びiOS版を順次配布開始。